



新年度における経済支援施策 移住支援制度

高橋 美奈雄
(市民クラブ)

質問 人材確保やリモートワーク環境の整備などの新たな施策を展開することについて、本市の考えは。

答弁 中小企業にとって人材確保は重要な課題であると認識しており、本年度には商工会議所と連携して、中小企業者資格取得支援事業を創設し、人材確保等に資する事業として活用されている。またIT環境の整備については、国の支援制度の案内等を行っている。これらの支援を継続しつつ、さらに必要な支援につ

いて、事業者のニーズの把握に努めたいと考えている。

税収基盤を安定させ、教育、福祉、医療などを充実させることを目的としている。また今回の整備に併せ、流通センター運動広場の東

質問 本市の移住支援施策と今後の取り組みは。

答弁 本市の魅力や先進的な取り組みを発信して移住を促進する、高崎市移住定住情報コーナーを市ホームページに設置するとともに、**リスティング広告**を実施した。コロナ禍で地方移住への関心が高まっている状況を好機と捉え、本市の魅力がより効果的に伝わるような手法を研究したい。



本市の文化芸術活動 根岸 赴夫

根岸 赴夫
(新風会)

質問 群馬交響楽団の在り方について、本市の考えは。

答弁 本市では、県と共に支援する立場として補助金を交付しているほか、高崎芸術劇場の事務所や楽器庫などのスペースを無償で提供している。令和3年11月には、群響改革プランの概要が発表され、海外演奏家の採用や親しみやすい曲を

演奏する新たな企画などが盛り込まれた。今後も、文化的に重要な財産として支援したいと考えている。

質問 高崎354複合産業団地の整備の目的は。また、市場の南にある流通センター運動広場の今後の扱いは。

答弁 高崎スマートインターチェンジ産業団地に続き、さらなる企業の誘致を図り、



おとしよりぐるりんタクシー



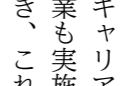
放課後児童クラブへの支援 交通弱者への支援

依田 好明
(日本共産党)

質問 放課後児童クラブの支援員の確保と処遇改善への取り組みは。

答弁 本市における支援員は令和3年度が570人で、各クラブにおいて配置基準を満たしている。また、平成27年度から国の制度を活用し、勤務形態に応じて一時金を支給する処遇改善事業を実施しており、30年度からは、勤務年数や職責、研修の受講状況等に応じ、

側を企業用地とするが、現行のグラウンドの一部と駐車場などを運動広場として使用可能とする予定である。



子どもを虐待から守る 取り組み

谷川 留美子
(無所属)

質問 本市が虐待を防止するためにしている対策は。

答弁 こども救済センターでは関係機関等と連携を図り、虐待の未然防止や早期発見に取り組んでいる。特に、乳幼児期の健診未受診者などの虐待リスクが高い事例に対しては、家庭訪問を実施し、早期の実態把握に努めた上で、子育てSOSサービス事業などにつなげている。学校などでも日頃から子どもの様子を観察し、虐待の疑いがある場合には早急に同センターに連

絡する体制を整えている。

質問 虐待などで子どもの人権が侵害されている現状を踏まえ、子どもたちに自身の権利を学ばせる機会をどのように設けているのか。



市営住宅 榛名地域の観光振興

おさかべ しんじ
(新風会)

質問 老朽化した市営住宅について、今後の対策は。

答弁 一部の市営住宅で老朽化が進んでおり、改修が困難な場合は新たな募集を停止している。1棟全てが空き家となった住宅は、地域の実情や財政状況等を考慮しつつ解体を進めている。今後必要な改修などを行い、安全で快適な市営住宅の供給に取り組んでいく。

質問 榛名湖の涼しい環境を生かし、県のテニスコートを需要の多いサッカー場に改修する考えは。また、

榛名地域での公衆無線LANのアクセラ状況は。

答弁 自然環境を生かすことは一つの視点と考えるが、テニスコートの改修には県の判断が必要である。榛名湖周辺にとって何が最適な関係機関と共に研究する必要がある。また、公衆無線LANを導入した令和元年11月から3年9月までのアクセス数は、榛名神社参道が9155件、榛名湖畔が1万6519件、榛名公園が9660件である。



ワクチン接種 新保 克佳

しんぼ かつよし
(公明党)

質問 肺炎球菌ワクチンの任意接種の助成開始年齢を70歳へ引き下げる考えは。

また、高齢者のインフルエンザワクチン接種の助成対象を学年単位にする考えは。

答弁 肺炎球菌ワクチンの定期接種対象は65歳だが、経過措置により70歳、75歳の人にも接種機会がある。

質問 中学校の武道の授業に空手道を導入できないか。

答弁 学習指導要領では、



熱気を帯びた高崎まつり (平成30年)



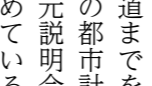
豊岡新駅(仮称)と アクセス道路の進捗状況は。

高崎 まつり
時田 裕之
(新風会)

質問 豊岡新駅(仮称)とアクセス道路の進捗状況は。

答弁 令和3年11月にJR東日本と新駅の概略設計に係る協定を締結した。この概略設計の結果を受けて、JR東日本が新駅設置の可否の最終判断を行うことになるが、設置に向けて大きな一歩を踏み出したと考えている。また、新駅の利便性向上や周辺道路の渋滞緩和を目的に、新駅から高崎

を取り入れていく。市教育委員会としては、導入を希望する学校への指導者の確保など、相談に応じたい。



地域でつくる子どもの居場所 高齢運転者の事故防止対策

小野 聡子
(公明党)

質問 子どもたちが見守られながら過ごせる居場所をつくるための、地域と連携した公民館の取り組みは。

答弁 各市立公民館では、夏休みを中心に小学生向けの講座を実施しており、科学実験教室などの講座では地域の人に講師をお願いしている。また地域の団体と協力し、伝統継承教室や地域行事などで世代間交流を図っている。今後も、地域全体で子どもたちを育てる環境づくりに取り組むたい。

質問 サポカーや後付け装置



平成20年3月の学習指導要領の改訂により、平成24年度から中学校の第1学年および第2学年の保健体育で武道が必修となり、柔道・剣道・相撲のうちから1つ履修することになった。本市は全ての中学校が柔道を採用した。

安全運転サポート車の愛称で、対歩行者衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制装置を搭載する車。

インターネットで検索したキーワードに連動して、検索結果の最上部に表示される広告。